

男女共同参画に関する市民意識調査

アンケートご協力をお願い

日頃から、岩倉市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

岩倉市では、誰もが個性や能力を十分に発揮でき、いきいきと活躍できる「地域でともに支え合い、生活と仕事が調和するまち 岩倉」の実現をめざして、「岩倉市男女共同参画基本計画」を策定し、さまざまな取組を行っています。

この調査は男女共同参画に関して、市内にお住いの皆様の意識や実態を把握するもので、調査結果は今後の市の施策を検討する上での基礎資料にしたいと考えております。

このたび、18歳以上の岩倉市民2,000人の方を無作為に抽出させていただいた結果、あなた様が対象となりました。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和7年9月 岩倉市

- 調査対象者は、住民基本台帳から無作為に抽出しております。
- この調査は、行政上の基礎資料として活用することを目的としており、他の目的に使用することは決してありません。
- ご回答は無記名です。調査の結果は、統計的な集計・分析だけに用いられるので、お答えの内容や個人情報が外部に漏れることは一切ございません。

令和7年9月30日（火）まで

にポストへ投函またはWEBフォームでご回答いただきますようお願いいたします。

ご回答にあたって

- ◆回答方法は、①当調査票にご記入のうえ同封の返信用封筒（切手不要）で郵送する方法と②WEBフォームで回答する方法の2種類があります。
- ◆封筒のあて名のご本人がお答えください。
- ◆設問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、注意書きをよくお読みください。

①当調査票にご記入（郵送の場合）

- ◆ボールペンまたは濃い鉛筆で当調査票に直接ご記入ください。
- ◆ご回答は、あてはまる答えの番号を○で囲んでください。
- ◆「その他」を選択した場合は、お手数ですが、（ ）内になるべく具体的に、その内容をご記入ください
- ◇ご回答後は、この冊子を三つ折りにし、同封の返信用封筒（切手不要）に入れてポストにご投函ください。

②WEBフォームで回答（インターネットの場合）

- ◆下記二次元バーコードを読み込むか、下記URLをブラウザのアドレスバーに入力し、WEBフォームからご回答ください。



▼URL

<https://otetsuzuki.jp/iwakura-city/application-services/7fc74454-c3c0-448f-8e0c-1ed90dc3b666>

≪問い合わせ先≫ 岩倉市 市民協働部 協働安全課 市民協働グループ
 電話：0587-38-5803（直通） FAX：0587-66-6380
 メールアドレス：kyoudouanzen@city.iwakura.lg.jp

◆ご回答は、あてはまる答えの番号を○で囲んでください。

「その他」を選択した場合は、お手数ですが、()内になるべく具体的に、その内容をご記入ください。

男女の平等感について

問1 あなたは、次にあげる分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。
(AからHについてそれぞれ○を1つ)

	男性の方が非常に 優遇されている	どちらかといえば 男性の方が優遇さ れている	平等である	どちらかといえ ば女性の方が優遇 されている	女性の方が非常に 優遇されている	わからない
[A] 家庭生活	1	2	3	4	5	6
[B] 職場	1	2	3	4	5	6
[C] 学校教育の場	1	2	3	4	5	6
[D] 地域活動の場	1	2	3	4	5	6
[E] 政治の場	1	2	3	4	5	6
[F] 法律や制度の上	1	2	3	4	5	6
[G] しきたり・慣習	1	2	3	4	5	6
[H] 社会全体として	1	2	3	4	5	6

家庭生活について

問2 あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について、どう思いますか。
(○は1つ)

- | | |
|--------------|------|
| 1 賛成 | →問3へ |
| 2 どちらかといえば賛成 | →問3へ |
| 3 どちらかといえば反対 | →問4へ |
| 4 反対 | →問4へ |
| 5 わからない | |

問3 問2で1・2と答えた方にお聞きします。それはなぜですか。(○はいくつでも)

- | |
|--------------------------------------|
| 1 日本の伝統的な家族の在り方だと思うから |
| 2 自分の両親も役割分担をしていたから |
| 3 夫が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから |
| 4 妻が家庭を守った方が、子どもの成長などにとって良いと思うから |
| 5 家事、育児、介護と両立しながら、妻が働き続けることは大変だと思うから |
| 6 その他(具体的に：) |

問4 問2で3・4と答えた方にお聞きします。それはなぜですか。（○はいくつでも）

- 1 男女平等に反すると思うから
- 2 自分の両親も外で働いていたから
- 3 夫も妻も働いたほうが、多くの収入が得られると思うから
- 4 妻が働いて能力を発揮したほうが、個人や社会にとって良いと思うから
- 5 家事・育児・介護は妻だけの役割ではないから
- 6 固定的な夫と妻の役割分担の意識を押しつけるべきではないから
- 7 その他（具体的に： _____）

問5 「現在結婚している方（又はパートナーと暮らしている方）」にお聞きします。

あなたの家庭では、次にあげる家事は主に誰が分担していますか。

（AからHについてそれぞれ○を1つ）

	自分	配偶者 （パートナー）	自分と 配偶者 （パートナー）	家族全員	その他の人
[A] 食事の支度	1	2	3	4	5
[B] 食事の後かたづけ・食器洗い	1	2	3	4	5
[C] 掃除	1	2	3	4	5
[D] 洗濯	1	2	3	4	5
[E] 買い物	1	2	3	4	5
[F] 子育て （子どもの世話・しつけ・教育など）	1	2	3	4	5
[G] 介護 （介護の必要な親の世話・病人の介護など）	1	2	3	4	5
[H] 家計の管理	1	2	3	4	5

女性の活躍について

問6 女性が職業を持つことについて、あなたの考え方は次のどれに近いですか。（○は1つ）

- 1 女性は職業をもたない方がよい
- 2 結婚するまでは職業をもつ方がよい
- 3 子どもができるまでは職業をもつ方がよい
- 4 子どもができて、ずっと職業をもち続ける方がよい
- 5 子どもができたなら仕事をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい
- 6 その他（具体的に： _____）
- 7 わからない

問7 男性が職業を持つことについて、あなたの考え方は次のどれに近いですか。（○は1つ）

- 1 男性は職業をもたない方がよい
- 2 結婚するまでは職業をもつ方がよい
- 3 子どもができるまでは職業をもつ方がよい
- 4 子どもができて、ずっと職業をもち続ける方がよい
- 5 子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい
- 6 その他（具体的に： _____）
- 7 わからない

仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について

問8 あなたは、生活の中で「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」のうち何を優先しますか。
（A、Bについてそれぞれ○を1つ）

A 希望として	B 現実として
1 「仕事」を優先したい	1 「仕事」を優先している
2 「家庭生活」を優先したい	2 「家庭生活」を優先している
3 「地域・個人の生活」を優先したい	3 「地域・個人の生活」を優先している
4 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい	4 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
5 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	5 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している
6 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	6 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
7 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」を両立したい	7 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」を両立している
8 その他 具体的に： _____	8 その他 具体的に： _____
9 わからない	9 わからない

問9 あなたは、「育児休暇」や「介護休暇」を取得したことはありますか。（○は1つ）

A 育児休暇	B 介護休暇
1 取得した	1 取得した
2 取得しなかった	2 取得しなかった
3 取得する機会がなかった	3 取得する機会がなかった
4 勤め先に制度がなかった	4 勤め先に制度がなかった
5 その他 具体的に： _____	5 その他 具体的に： _____

問10 あなたは、女性が出産後に同じ職場に復帰し働き続けるために、家庭・職場・社会において何が必要だと思いますか。（○は3つまで）

- 1 保育園や放課後児童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備
- 2 介護支援サービスの充実
- 3 家事・育児支援サービスの充実
- 4 男性の家事参加への理解・意識改革
- 5 女性が働き続けることへの周囲の理解・意識改革
- 6 働き続けることへの女性自身の意識改革
- 7 男女双方の長時間労働の改善を含めた働き方改革
- 8 職場における育児・介護との両立支援制度の充実
- 9 短時間勤務制度や在宅勤務制度などの導入
- 10 育児や介護による仕事への制約を理由とした昇進などへの不利益な取り扱いの禁止
- 11 その他（具体的に： _____）
- 12 特にない
- 13 わからない

問11 あなたは、出産や育児で離職した女性が再就職を考えたとき、どのような働き方を望むと思いますか。（○は1つ）

- 1 これまでの知識や経験を生かして、正社員として働きたい
- 2 仕事と家事・育児・介護が両立しやすい環境で正社員として働きたい
- 3 これまでの知識や経験を生かして、パート・アルバイトとして働きたい
- 4 働く時間や場所を考え、パート・アルバイトとして働きたい
- 5 その他（具体的に： _____）
- 6 わからない

子育てについて

問12 あなたは、子どもをどのように育てたいと思いますか。（○は1つ）

- 1 男の子らしさ、女の子らしさにとらわれず、個性（その子らしさ）を尊重して育てたい
- 2 男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てたい
- 3 どちらともいえない
- 4 その他（具体的に： _____）
- 5 わからない

地域社会について

問13 あなたの住む地域では、次にあげる役割は「男性」と「女性」のどちらが担うことが多いですか。
(AからDについてそれぞれ○を1つ)

	男性 の方が多い	どちらか かといえ ば男性 の方が多い	男性 と女性 が同じく 多い	どちらか かといえ ば女性 の方が多い	女性 の方が多い	わ か ら な い
A 区長 (町内会長、自治会会長など)	1	2	3	4	5	6
B 民生委員・児童委員 ※1	1	2	3	4	5	6
C 子ども会役員	1	2	3	4	5	6
D PTA会長 ※2	1	2	3	4	5	6

※1 自らも地域住民の一員として、それぞれが担当する区域において、住民の生活上のさまざまな相談に応じ、行政をはじめ適切な支援やサービスへの「つなぎ役」としての役割を果たすとともに、高齢者や障がい者世帯の見守りや安否確認などをおこなっている方。

※2 小中学校ごとに子ども達のすこやかな成長のために、保護者や先生で組織される団体であるPTAの代表者。

DV（ドメスティックバイオレンス）について

問14 配偶者（パートナー）や交際相手がいる、またはいた方にお聞きします。これまでにあなたの配偶者（パートナー）や交際相手から次にあげる行為を受けたことはありますか。
(○はいくつでも)

- 1 大声でどなられたり、暴言を吐かれたりした
- 2 何を言っても無視され続けた
- 3 「だれのおかげで生活できるんだ」「かいしょうなし」などと言われた
- 4 交友関係や電話を細かく監視された
- 5 生活費をわたさないなど、経済的におさえつけられた
- 6 医師の治療が必要となるくらいの暴力を受けた
- 7 命の危険を感じるくらいの暴力を受けた
- 8 見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せられた
- 9 いやがっているのに性的な行為を強要された
- 10 今までに上記のような行為を受けたことはない

問15 あなたは、配偶者（パートナー）や交際相手からの暴力についての相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

- 1 知っている →問16へ
- 2 知らない

問16 問15で1と答えた方にお聞きます。どの相談窓口を知っていますか。(〇はいくつでも)

- 1 配偶者暴力相談支援センター（愛知県女性相談センター）
- 2 ウィルあいち（愛知県女性総合センター）
- 3 岩倉市役所
- 4 警察
- 5 民間の団体や機関（民間シェルター、弁護士会など）
- 6 法務局、人権擁護委員、法テラス
- 7 その他（具体的に： _____）

性的少数者について

問17 あなたは、性的少数者の方に関連する次にあげる言葉や状況を知っていますか。
(AからEについてそれぞれ〇を1つ)

	知っていた	知らなかった
[A] 性的少数者を表す「LGBT」という言葉があること。※1	1	2
[B] すべての人の性の属性を表す「SOGI」という言葉があること。※2	1	2
[C] 本人が、公にしていなかった性的指向や性自認を家族や友達などに表明することを「カミングアウト」と呼ぶこと。	1	2
[D] 本人の了承なく、性的指向や性自認を第三者に暴露することを「アウティング」と呼ぶこと。	1	2
[E] 性的少数者の方が雇用や健康、家族形態など、様々な面で困難な状況にあること。	1	2

※1 [L]レズビアン（女性同性愛者）、[G]ゲイ（男性同性愛者）、[B]バイセクシャル（両性愛者）、[T]トランスジェンダー（心と体の性が一致しない人）のそれぞれの英語の頭文字をとったもの。

「LGBTQ+」と表記することもあり、[Q]はクエスチョニング（自身の性自認や性的指向が定まっていな、もしくは意図的に定めていない人）やクィア（性的指向や性自認が従来の枠組みに当てはまらない人々）を指し、[+]はさらに多様な性的指向や性自認を含めることを示している。

※2 性的指向（どのような性別を好きになるか）と性自認（自分の性をどのように認識しているか、心の性）の英語の頭文字をとったもの。

問18 あなたは、身近な人が性的少数者だった場合、これまでと変わりなく接することができますか。
(AからCについてそれぞれ〇を1つ)

	変 わ ら ず 接 す る こ と が で き る	変 わ ら ず 接 す る こ と が で き な い	わ か ら な い
[A] 家族や友人	1	2	3
[B] 学校や職場内の人	1	2	3
[C] 地域の人	1	2	3

用語の認知度について

問 1 9 あなたは、次にあげる用語を知っていますか。（AからHについてそれぞれ○を1つ）

	言葉も内容も 知っていた	言葉だけは 知っていた	知らなかった
[A] 男女共同参画社会	1	2	3
[B] ワーク・ライフ・バランス （仕事と生活の調和）	1	2	3
[C] DV（ドメスティックバイオレンス）	1	2	3
[D] シャドーワーク	1	2	3
[E] アンコンシャス・バイアス （無意識の思い込み）	1	2	3
[F] ジェンダー	1	2	3
[G] ダイバーシティ	1	2	3
[H] 岩倉市パートナーシップ・ファミリー シップ宣誓制度	1	2	3

用語解説

[A]	男女が社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を受け取ることができ、かつ、共に責任を担うべき社会のこと。
[B]	男女ともにやりがいや充実感を感じながら働くとともに、人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現でき、子育て、介護、自分自身の時間なども充実できること。
[C]	配偶者や恋人など親密な関係にある、またはあった者からの暴力のこと。身体的暴力だけでなく、精神的暴力、経済的暴力、性的暴力、社会的暴力、子どもを利用した暴力なども含まれる。
[D]	家事、育児、介護などの賃金が発生しないものの、家庭生活や社会の基盤を支えるために必要不可欠な労働のこと。賃金が発生しないことから、労働として評価されにくいという問題がある。
[E]	誰もがこれまでの経験や知識、育った環境などによって知らず知らずのうちに形成される「無意識の偏見」や「無意識の思い込み」のこと。
[F]	生物学的性差（セックス）に関連付けられる、社会的・文化的性差（ジェンダー）のこと。社会や文化の中で「男らしさ／女らしさ」として期待される役割や振る舞いのこと。
[G]	多様性を意味する言葉で、人種や性別、年齢、文化、宗教、価値観、障がいの有無など異なる背景や特性を持つ人々が共生している状態のこと。
[H]	お互いを人生のパートナーとして尊重し、日常生活において対等な立場で、相互に責任をもって協力すると約束した2人がパートナーの関係にあることを岩倉市に宣誓し、宣誓したことを岩倉市が証明する制度のこと。 （令和7年4月1日から開始。一方または双方が性的少数者のカップルや事実婚の方が対象。）

今後の市の施策について

問20 あなたは、今後岩倉市がどのような分野の施策に力を入れていくべきだと思いますか。
(○は3つまで)

- | |
|---|
| 1 男女共同参画社会に対する啓発活動の実施
2 生涯を通じ学習する機会の提供、市民活動への支援
3 女性・子ども・高齢者等に対する暴力（DV、虐待）の根絶
4 人権に関する教育や啓発
5 多様なニーズに対応した子育ての支援
6 高齢者の暮らしの支援
7 生涯を通じた男女の健康づくりの支援
8 ひとり親家庭、障がい者のいる家庭などへの支援体制の整備
9 雇用対策の充実、就業の支援、人材育成や能力開発の支援
10 男女の均等な雇用機会と待遇の確保
11 仕事と家庭が両立できる環境の整備（ワークライフバランスの普及）
12 審議会などへの女性の参画の拡大、女性の人材育成など
13 市民活動の活性化、地域コミュニティ活動の充実支援
14 地域リーダーの養成、ネットワークづくり
15 その他（具体的に： _____）
16 特に必要なことはない
17 わからない |
|---|

※1～14は岩倉市男女共同参画基本計画で定めている施策の分野になります。

自由意見

次にあげることについて、どう思いますか。ご意見をお聞かせください。

問21 子育てや介護がしやすくなるにはどうしたらよいと思いますか。

--

問22 仕事と生活のバランスがとれた働き方をするにはどうしたらよいと思いますか。

--

問23 地域や社会で女性が活躍するにはどうしたらよいと思いますか。

問24 男女がともに地域社会活動（自分が住む地域やコミュニティの発展や活性化に役立つ活動をする）に積極的に参加するようになるにはどうしたらよいと思いますか。

問25 身近な人（配偶者（パートナー）、子ども、親、交際相手など）への暴力をなくすにはどうしたらよいと思いますか。

問26 性別、年齢、国籍に関わらず、お互いを認め合える社会にするにはどうしたらよいと思いますか。

回答者の属性

問27 ご回答を統計的に分析するために、あなたご自身のことについてお聞かせください。

(令和7年9月1日時点の状況でご回答ください。)

A 性別 (○は1つ)	
1 男性	2 女性 3 答えたくない、わからない、その他
B 年齢 (○は1つ)	
1 10・20歳代	2 30歳代 3 40歳代 4 50歳代
5 60歳代	6 70歳以上 7 答えたくない
C 職業 (○は1つ) (育児・介護休業中等の方も働いているものとみなしてください。2つ以上仕事をお持ちの方は、主なものをお答えください。パートタイマーや内職をしている方も「会社・組織へ勤務の方」としてお答えください。)	
自営業・自由業の方	1 農林漁業 2 商・工・サービスの自営業主 3 自由業(作家、芸術家など) 4 上記「1～3」の家族従業者
会社・組織へ勤務の方	5 正社員・正職員 6 派遣・契約社員 7 パート・アルバイト 8 その他 ()
無職・学生の方	9 専業主婦・専業主夫 10 学生 11 その他 ()
D あなたに配偶者(パートナー)はいますか。(○は1つ)	
1 いる(事実婚を含む) → Eへ 2 いない(死別や離婚を含む)	
E Dで1と答えた方にお聞きます。 あなたと配偶者(パートナー)は、共働きをしていますか。(○は1つ)	
1 共働きをしている(パート、アルバイトを含む) 2 共働きをしていない	
F あなたのご家庭の世帯構成は、次のどれにあたりますか。(○は1つ)	
1 一人暮らし(単身世帯) 2 夫婦のみ(一世代家族) 3 親と子ども(二世世代家族) 4 親と子どもと孫(三世世代家族) 5 その他(具体的に:)	

ご協力ありがとうございました。

お忙しいところ大変恐縮ですが、この冊子を三つ折りにし、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、令和7年9月30日(火)までにポストへ投函いただきますようお願い申し上げます。